

住民避難訓練の結果について

1 目的

- ・能登半島地震で顕在化した課題（孤立対策、避難生活環境の整備）を踏まえた住民避難の検証
- ・屋内退避、一時移転、スクリーニング、原子力災害医療および広域避難における受入体制の確認と検証
- ・県、関係市および防災関係機関の原子力災害対策に係る実行能力の向上
- ・地域住民の原子力災害対策に係る意識、理解の向上

2 実施日時・場所

● 日時

令和 7 年 11 月 15 日（土） 8 時 00 分から 14 時 00 分まで

● 場所

長浜市内、東近江市内

- ・一時集合場所：長浜市立西浅井中学校、長浜市立塩津小学校
- ・孤立想定地域：長浜市西浅井町月出（湖上輸送）
長浜市西浅井町集福寺（ヘリ救出）
- ・避難中継所：湖北体育館
- ・原子力防災講習：バス車内
- ・避難所受入訓練：東近江市立玉園中学校

3 参加・協力機関

- 参加住民数：43 人（長浜市塩津小学校区）
- 参加協力機関数：36 機関 330 人（参加住民を含む）

参加協力機関：

内閣府、陸上自衛隊第 3 偵察戦闘大隊、航空自衛隊第 12 高射隊、大津市、東近江市、湖北地域消防本部、（一社）滋賀県バス協会、（一社）滋賀県トラック協会、ヤンマーコーポレーション（株）、（株）空兵衛造船所、長浜赤十字病院、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、済生会滋賀県病院、近江八幡市立総合医療センター、日本赤十字社滋賀県支部、（公社）滋賀県診療放射線技師会、（一社）滋賀県医師会、（公社）滋賀県看護協会、京都大学、大阪大学、広島大学、（公財）原子力安全研究協会、関西電力（株）、日本原子力発電（株）、（国研）日本原子力研究開発機構、（一社）滋賀県警備業協会、（一社）滋賀フードトラック協会、（一社）日本キッチンカー経営審議会、WOTA（株）、（一財）滋賀県動物保護管理協会、（株）エフエム滋賀、（公財）滋賀県身体障害者福祉協会、（株）ドコモビジネスソリューションズ

4 訓練想定

若狭湾沖を震源とした地震による美浜発電所3号機の事故により、放射性物質が放出され長浜市の一部で避難等の措置を要する基準まで空間放射線量率が上昇。

5 主な訓練内容

(1) 屋内退避訓練

- ①防災行政無線、安全・安心メール、LINE、防災ラジオ、消防団による住民への屋内退避指示
- ②自宅で屋内退避できない時の対応（避難所での屋内退避）
- ③インターンシップ実習生と協働して作成した「屋内退避までの流れ」等原子力防災に関する動画による啓発

(2) 住民避難訓練

- ①防災行政無線、安全・安心メール、LINE、消防団による住民への一時移転指示
- ②一時集合場所の設置・運営
 - ・被災住民登録、安定ヨウ素剤配布
- ③バス、自衛隊トラック等による避難
- ④要配慮者の避難
 - ・福祉車両による避難、スクリーニングの実施
- ⑤ピクトグラムを活用した外国人の避難誘導
- ⑥孤立集落からの避難
 - ・浮棧橋を活用した港以外での船舶乗降
 - ・孤立集落から湖上輸送による住民避難
 - ・孤立集落内で発生した急病人に対するヘリによる救出
- ⑦避難指示区域内パトロール

(3) 避難中継所運営

- ①避難中継所の設置・運営
 - ・スクリーニングおよび除染、医療救護
- ②避難中継所運営本部の設置・運営

(4) 広域避難

- ①広域避難における避難先地域（東近江市）での受入れ
- ②避難生活環境の課題を踏まえた適切な避難所運営
 - ・トイレカー等によるトイレ確保、キッチンカーによる炊き出し、水循環型シャワーほか
- ③福祉避難所調整
 - ・要配慮者の避難先調整

(5) 原子力災害医療訓練

- ①救急車による傷病者の搬送

②原子力災害拠点病院における原子力災害医療の実施

- ・長浜赤十字病院において患者受入訓練等の実施（院内訓練）

(6) その他

①原子力防災講習

- ・屋内退避の効果、必要性等について、住民理解の促進

②ペット同行避難に係る啓発展示

③災害時用公衆電話展示



写真① 一時集合場所（西浅井中学校）
避難対象住民の一時集合場所への集合



写真② 一時集合場所（西浅井中学校）
安定ヨウ素剤服用説明



写真③ 一時集合場所（西浅井中学校）
バスによる住民避難



写真④ 避難行動要支援者避難（西浅井中学校）
福祉車両（関西電力）への搬入



写真⑤ 避難行動要支援者避難（西浅井中学校）
福祉車両（湖北地域消防本部）への搬入



写真⑥ 孤立集落（西浅井町月出）
孤立集落住民の集合



写真⑦ 孤立集落（西浅井町月出）
浮棧橋を移動



写真⑧ 孤立集落（西浅井町月出）
船舶での避難



写真⑨ 孤立集落（西浅井町集福寺）
から自衛隊ヘリによる搬送



写真⑩ 孤立集落（西浅井町集福寺）
救急隊によるスクリーニング



写真⑪ 避難中継所（湖北体育館）
避難住民の到着



写真⑫ 避難中継所（湖北体育館）
住民スクリーニング



写真⑬ 避難中継所（湖北体育館）
住民スクリーニング



写真⑭ 避難中継所（湖北体育館）
住民（要配慮者）スクリーニング



写真⑮ 避難中継所（湖北体育館）
住民除染



写真⑯ 避難中継所（湖北体育館）
車両スクリーニング



写真⑰ 避難中継所（湖北体育館）
車両除染



写真⑱ 避難中継所（湖北体育館）
原子力災害医療訓練



写真⑲ 避難中継所（湖北体育館）
原子力災害医療訓練（救急搬送）



写真⑳ 広域避難先（玉園中学校）
受付（スクリーニング記録の確認）



写真㉑ 広域避難先（玉園中学校）
避難環境改善（キッチンカー、給水車）



写真㉒ 広域避難先（玉園中学校）
避難環境改善（トイレカー）



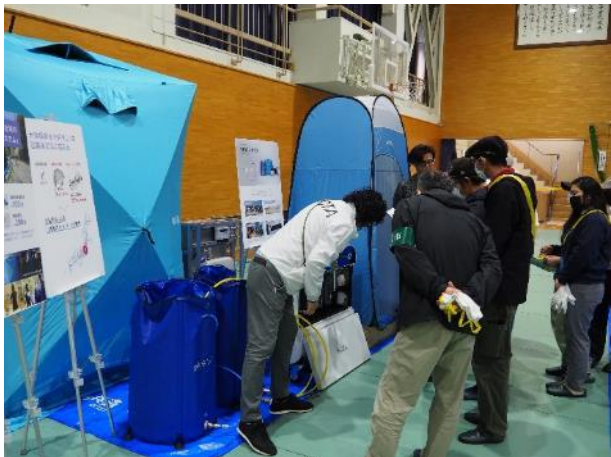
写真㉓ 広域避難先（玉園中学校）
住民受付



写真㉔ 広域避難先（玉園中学校）
段ボールベッド組み立て体験



写真㉕ 広域避難先（玉園中学校）
ペット防災



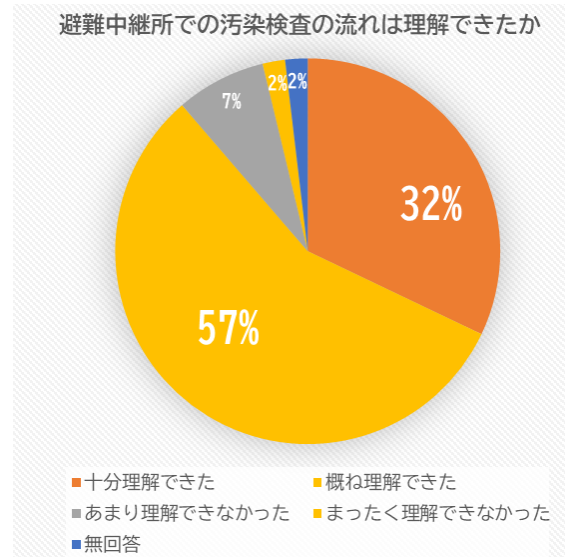
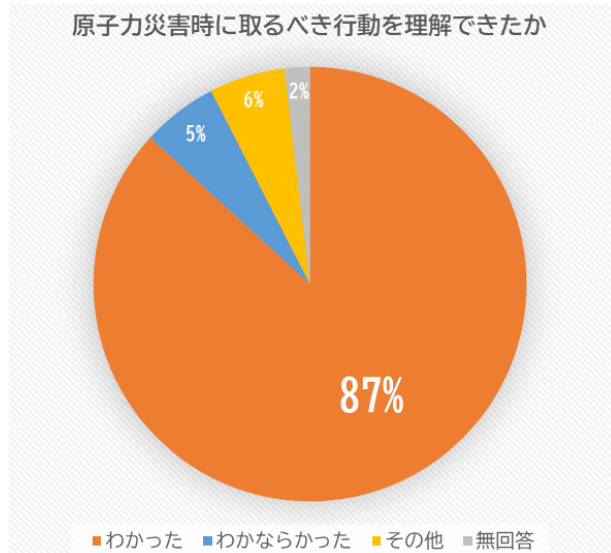
写真㉖ 広域避難先（玉園中学校）
避難環境改善（水循環型シャワー）

6 昨年度の訓練で出た課題に対する対応

- 足元の矢印はもう少し多い方が良い。（特に赤の矢印が少ない）
→ゲートモニタ後の矢印を増やし対応した。
- ゲートモニタ1台につき2名で対応していたが、もう少し人を増やしてスムーズに測定できるようにした方が望ましい。
→昨年度の訓練では、住民誘導を行うスタッフが少なかったため、必要な人員数を精査し対応した。
- スクリーニング待機時、誰がどこに座っていたか把握が困難
→今年度の訓練では、椅子に座って待機することは取りやめた。

7 住民アンケート結果

参加住民に対し、今回の原子力防災訓練について、アンケートを実施した。おおむね、原子力災害時の行動手順や汚染検査の流れについて理解が得られたと考えられる。



8 今後の対応

- 参加協力機関へアンケートを実施。(集計中)
- 1月下旬に関係機関との訓練振り返り会議を実施予定。
→ 今後、訓練で明らかになった課題や改善点を踏まえ、体制や手順などの検証を行う。